

# 深川東京 *fukagawa tokyo modankan news* モダン館だより

モダン館だより 100号記念連載

## 連載 東京市深川食堂が出来た年 - その③(最終回) -

深川食堂の出来た昭和7年(1932)は、東京の歴史を振り返る上でも一つの画期となった年でした。それが、10月1日の「大」東京市の誕生でした。それまで15区であった東京市が、隣接する82ヶ町村をまとめて35区、人口497万人余の大都市となったのです。

この「大」東京市の範囲は、現在の東京23区に相当する地域でした。  
(次ページへ続く)

せんじゅうしちはちねんせんえき  
深川公園内の明治卅七八年役戦死者忠魂碑



もとは富岡八幡宮本殿の西南側の旧神輿蔵脇にあった忠魂碑は、この年に区画整理のため移転することとなり、日清戦争の忠魂碑とともに現在地へ移動しました。12月4日に移転完了の式典が行われています。

## 9月のカレンダー



月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
		アウトサイダーアートの方向 (～5)				
6 休館日	7	8	9	10	11	12
13 休館日	14	15	16	17	18	19
20	21 休館日	22	23	24	25	26
27 休館日	28	29	30			

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

### ●お客様へのお願い

- ・次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。  
37.5度以上の発熱があるお客様 咳、喉の痛み等の症状があるお客様  
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があるお客様
- ・マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- ・手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
- ・催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。

(前ページから) 江東区域でいえば、新たに東京市に組み入れられたのは、東側の亀戸や大島、砂町といった地域で、それまでは南葛飾郡の行政区画となっていました。亀戸は、南葛飾郡の経済の拠点で、明治33年(1900)に町制が施行されています。一方、大島も同年に村から町となり、砂町の町制施行は大正10年(1921)となっています。

新しい区を編成するにあたり、昭和7年5月1日の『東京朝日新聞』によれば、東隣の小松川町も含めた4町合併で、名称は亀戸区とされていました。ところが10日後の11日付の記事では、小松川町は東隣の町村と合併して江戸川区となり、残りの3町での合併で、名称は小名木川区と発表されたのです。これに驚いた亀戸町民は大挙して東京市役所を訪れ、名称を亀戸区とすること、区役所は旧大島町域ではなく、当初の計画通り旧亀戸町域にすることを要求しました。このような変更は、他の地域でも見られ、東京東部では寺島区が向島区、千住区が足立区となっています。亀戸町は、一時東京市への編入に反対するなどの

動きも出ましたが、最終的には名称が城東区、区役所の場所も旧大島町域という形でまとめられて10月1日を迎えています。

今回、あしかけ3号にわたってモダン館の建物が竣工した昭和7年(1932)を振り返ってきました。関東大震災からの復興を遂げ、10月には世界第2位の「大」東京市が誕生するなど明るい話題も見られますが、血盟団団員によって前大蔵大臣井上準之助、三井合名会社理事長団琢磨が射殺され、5月15日には青年将校によって現職の首相である犬養毅が暗殺されるなど、世の中の空気は殺伐としたものとなっていました。東京市が設置した公営食堂としては最後の設置となる深川食堂は、わずか4年、昭和11年(1936)3月31日付で閉鎖され、翌12年1月15日に廃止となりました。うち続く不況と失業者などが立ち上げた飯屋などの民間事業を圧迫しないようにとの判断によるものでした。徐々に国全体を閉塞感が覆ってしまうような時期であったといえます。

(深川東京モダン館 龍澤潤)

### 昭和7年(1932)のおもなできごとと江東区域(9~12月)

月	日	できごと
9	2	台風で洲崎弁天町など約900戸が浸水被害
10	1	東京市に隣接82町村が合併、人口497万人の都市が誕生する(亀戸・大島・砂の3ヶ町が合併して城東区となる)
11	6	明治第一小学校校長西島精氏(明治小勤続35年)の謝恩会を開催
11	26	越中島の東京高等商船学校(現東京海洋大学)本館などが竣工
12	4	深川公園にて日清・日露忠魂碑移転祝賀会が行われる
12	23	深川区富川町で20戸を焼く火災が起こる

※吉原健一郎・大濱徹也編『増補版江戸東京年表』(小学館2002)、『櫻東新聞』、朝日・読売・毎日の各新聞縮刷版から作成した。

主催

協力 アトリエライブハウス



企画展 **アウトサイダーアートの方向** —Westerly winds from Osaka—

8月24日(火)~9月5日(日) ※最終日は14時まで

入場無料

大阪の障がい者生活介護事業所「アトリエライブハウス」のアーティストによるグループ展

## お散歩



コロナ禍で生活が大きく変わり、道に咲いてる花を見ることが楽しみで、美味しいパン屋さんやコーヒー屋さんを見つけながら、ほぼ毎日近所を散歩して楽しむようになりました。現在は、日中は暑いので涼しくなってから行くようにしております。私の散策コースは、清澄界隈が多いのですが、清澄というと何処が思い浮かぶでしょうか。私は、小さい頃からよく遊びに行った清澄庭園と清澄公園が浮かんで来ます。清澄庭園の中に入ると、美しく整えられた庭が目の前に広がります。ここでは、四季折々の景色を楽しむことが出来、特に秋に色めく木々の中でも、ハゼノキが真っ赤になり魅了されます。隣接する清澄公園は、ここが都会のど真ん中とは思えないほど緑が深く、森林浴ができて癒されます。そして、この界隈を歩くと大好きなコーヒーとパンが美味しくて素敵なお店があちこちにあり、つい足を向けてしまいます。

また、江東区は水彩都市と言われており、多くの川の両側には遊歩道があります。道すがら、ご近所の方に偶然に会って間隔を取りながらお話をすることも、楽しみの一つになりました。

大横川沿いは桜の木が列をなし、春には一面がピンク色に染まり、まるで桜のトンネルのようである通るたびにウキウキ気分になります。そこから木場公園まで歩くと、マルシェとカフェがあり、新鮮な野菜を買って料理することが楽しみとなりました。その他にもお弁当やサンドイッチも扱って

いて、にわかピクニックもできます。また、公園の中で飲むコーヒーは、何処かに行った気分になれて幸せな気持ちになります。

小名木川沿いには江東区の木である「黒松」が植えてあり、大横川沿いとは印象が異なり、開けた感じがします。西深川橋の袂まで行くと、パブリックアートのシーラカンスが出迎えてくれます。このオブジェクトは、20年以上も前からあるようで、シーラカンスは幸運の魚といわれています。前を通るとホッとするようになったのは、そのせいでしょうか。そこから先は新小名木川水門があるため、万年橋近くで遊歩道は終わりになります。

万年橋通りに出ると、芭蕉庵史跡展望庭園から見る景色が素晴らしく、隅田川と小名木川が交差する場所でしばし佇みます。また、万年橋から清洲橋を眺めては、その昔、富士山が見えていた頃に思いを馳せたりして楽しんでいます。また、清洲橋の優美な姿は何とも言えず、そこから見るスカイツリーは、本当に美しいです。皆様、お近くにお越しの際は、良かったら清澄界隈を散策されてはいかがでしょうか。今では、身近なところを歩く事で多くを楽しめると再発見しました。そして、日々を変わずに生活出来る事に、毎日感謝です。



パブリックアートのシーラカンスと西深川橋



(文と写真 江東区文化観光ガイド 近藤 眞理)

江東区文化観光ガイドによる**モダン館周辺のまちあるきツアー**（1時間程度、11:00・14:00出発）は**現在中止しております**。再開についてはWEBサイトでお知らせいたします。

[www.fukagawatokyo.com](http://www.fukagawatokyo.com)

## 貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

### ◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

### ◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

## ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター コトミちゃんグッズ各種（ぬいぐるみ、缶バッジ、マフラータオル ほか）
- ・江東区の名所を描いた絵はがき（水彩・切絵・写真など）
- ・ビニール製マスク入れ
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・コースター
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ等



絵はがき 清澄庭園・深川 各500円

## 百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」そして「モダン館ブレンド」（しっかり・すっきり）、また夏季限定の「ひやし」5 種類をご用意しております。まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



## 開館日および開館時間

10:00-18:00（金・土曜日は19:00まで）

休館日：月曜日

（月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります）



Eupatorium japonicum

「深川東京モダン館だより」第102号(2021年8月31日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

